

114  
A2618  
1



治安警察法

第一條

安寧秩序ヲ保持シ又ハ風俗ノ壞敗ヲ  
防制スル為メ必要ナル場合ニ於テハ當該官ハ結  
社集會並多衆ノ運動ヲ制限シ又ハ之ヲ禁止ス  
ルコトヲ得

本條ノ制限又ハ禁止ヲ受ケ仍之ヲ犯シタル者ハ  
十日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十円以上百円以下  
ノ罰金ニ處ス

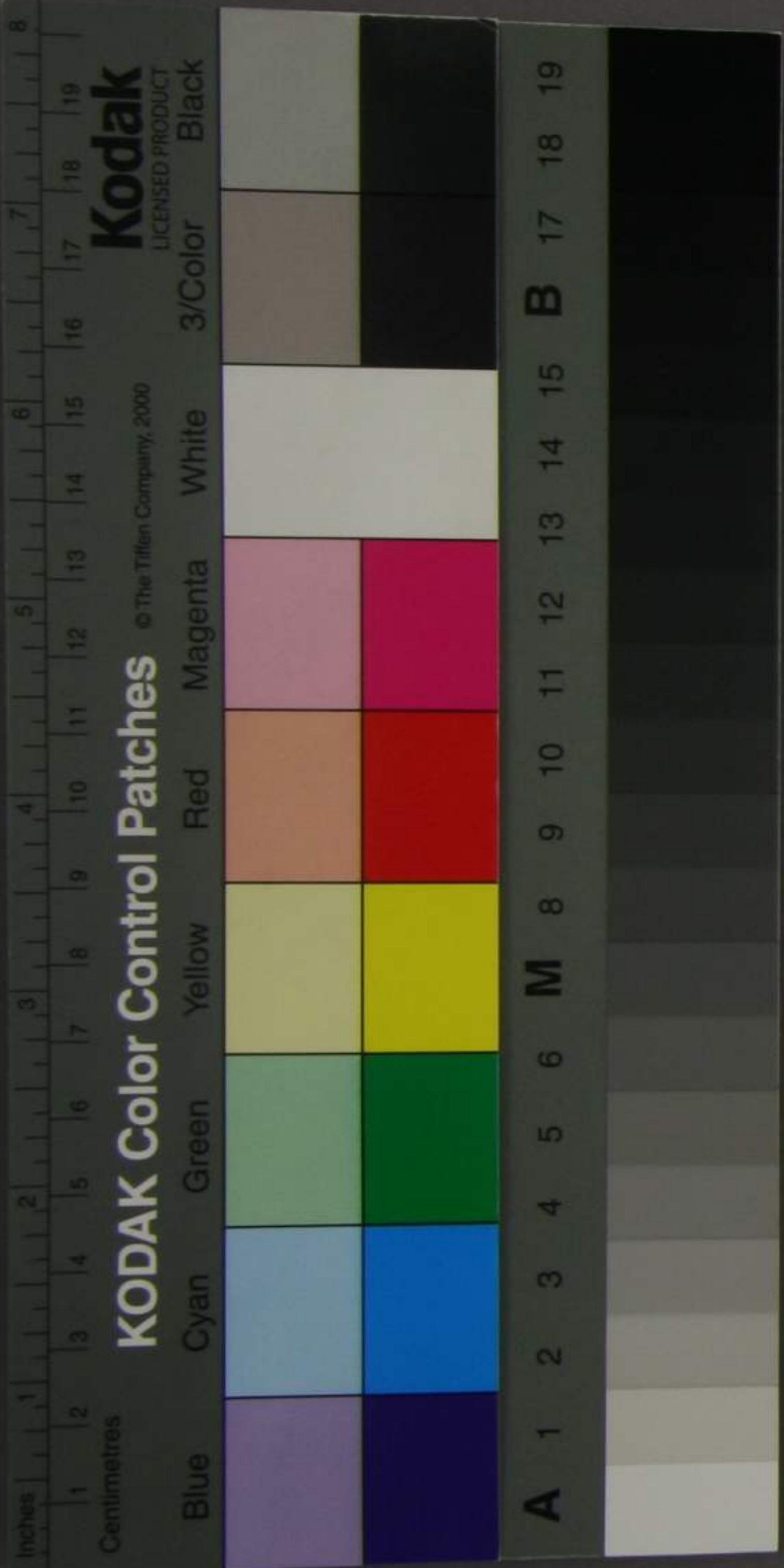
第二條

公開ニ係ル講談論議ニシテ犯罪ヲ教唆シ

若ハ刑事被告人ヲ曲庇賞恤救護シ其他安寧秩  
序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムル場合  
ニ於テハ當該官ハ其會ニ於ケル其人ノ講談論議ヲ  
禁止スルコトヲ得

大正十一年  
侯爵  
贈

1887





當該官ハ必要ト認ムルトキハ公開ニ係ル講談論議ノ場所ニ臨席スルコトヲ得

第三條 第一條ノ事項ニ関シ當該官ノ尋問アリタルトキハ會長發起人若ハ主タル役員又ハ會員ト認ムル者之ニ答フヘシ

前項ノ尋問ニ答ヘス答フルモ實ヲ以テセス又ハ前條ノ講談論議ニ當該官ノ臨席ヲ拒ミ若ハ其求ムル席ヲ供セサルトキハ會長發起人若ハ主タル役員又ハ會員ト認ムル者ハ二回以上五十回以下ノ罰金ニ處ス

第四條 集會又ハ多衆運動ノ場合ニ於テハ喧擾狂暴ニ涉リ又ハ制規ニ依ルノ外戎器ノ携帶ヲ為スヲ得ス犯ス者ハ五回以上五十回以下ノ罰金ニ處ス

第五條 街頭其他公衆ノ往來出入スルノ場所ニ於テ放言漫語シ又ハ諷刺ノ意ヲ寓スル文書圖畫詩歌ヲ揭示頒布朗讀放吟シ因テ公安ヲ妨害シ又ハ他人ノ生命財産名譽ニ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ二回以上三十回以下ノ罰金ニ處ス

第六條 内務大臣ハ左ノ各号ノ一ニ該當スル外國人ヲ一定地域外又ハ帝國版圖外ニ放逐スルコトヲ得一帝國ノ安寧秩序ヲ妨害スルノ虞アル者  
二 重罪輕罪ノ刑ニ處セラレ監視ニ付セラレタル者  
三 官廳ノ戒告ヲ用井ス密ニ賣淫ヲ為シ又ハ其媒合容止等淫猥ノ所為アル者  
四 乞丐ヲ為シ又ハ其家族ヲシテ乞丐ヲ為サシメ若ハ



之ヲ制止セサル者

五 飲酒懶惰ニ耽リ衣食住ヲ得ルノ途ナキ者又ニ養育ヲ受クヘキ者ノ生活ヲ保續スル能ハスシテ他人ノ救助ヲ仰クヘキ状態ニ陥ラシメタル者

第七條 放逐セラレタル者許可ナクシテ再々放逐地又ハ帝國版圖内ニ来リタル者ハ十日以上四月以下ノ輕禁錮又ハ五十日以上五十日以下ノ罰金ニ處シ内務大臣ハ再々之ヲ一定地域外又ハ帝國版圖外ニ放逐スヘシ

第八條 浮浪徘徊一定ノ生業ヲ有セサル者ニ對シテハ地方長官(東京府ハ警視總監)ハ将来ニ向テ左ノ各号ノ全部若ハ一部ノ所為ヲ為スヘカラサルコト又ハ其所為ヲ煽動スヘカラサルコトヲ命令スルコトヲ得

一 何等ノ辞柄ヲ以テスルニ拘ハラス賤物ヲ強請スルノ處為

二 他人ノ業務ニ干涉シ又ハ言行計略ヲ以テ強迫若ハ侮辱シ其自由ヲ妨害スルノ所為

本條ノ命令ハ一箇年間其効力ヲ有ス但シ改悛ノ情狀顯著ナル者ニ對シテハ地方長官(東京府ハ警視總監)ハ何時ニテモ其命令ヲ解除スルコトヲ得

本條ノ命令ニ違背シタル者ハ十日以上四月以下ノ輕禁錮又ハ五十日以上五十日以下ノ罰金ニ處ス

第九條 本法施行ノ為メ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 明治二十六年法律第十四号集會及政社法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス



治安警察法制定ノ概要

現今ノ集會及政社法ハ其取締方法複雑ナル割合ニハ  
實効少シ若シ夫レ方法ノ他ニ在ルアラハ勉メテ人民  
ニ繁累ナル手数數ヲ盡サシメサルヲ要スト認メ茲ニ  
治安警察法ヲ制定シ從來ノ集會及政社法ハ之ヲ  
廢止セントス

現行ノ集會及政社法ハ別冊第十二議會ニ於ケル衆議  
院及警保局改正意見對照案ニ徴スルモ其必要ト  
スル所ノ規程ハ要之集會ニ於テハ安寧秩序ノ妨害  
ヲ制シ併テ其保護ヲ全シ政社ニ於テハ安寧秩序ノ  
妨害ヲ制スルニ在ルノミ餘ハ一ニ此目的ヲ達スルノ附  
隨規程タルニ過キス尤モ外國人並ニ或ル種ノ内國人ニ  
ハ會同加入ヲ禁止スルノ規定アリト雖モ外國人並ニ所



定ノ内國人ノ一部分ハ新聞紙雜誌ニ於テ自由ニ政談  
論議若クハ政談論議ノ閱讀ヲ許容シアルヲ以テ獨リ之  
ヲ集會政社ニ於テ禁壓スルノ必要ナシト認メタルノ  
ミナラス内務大臣ハ政治及社會上ノ結社ヲ制限禁  
止スルノ權能ヲ留保セハ外國人ノ會同加入ニシテ仮令  
帝國ノ安寧秩序ニ妨害ヲ釀スノ狀況ヲ呈スルニ至ル  
モ其取締上敢テ差支ヲ見ス且一面ニ於テハ武官並ニ  
教育家ノ政談政社ニ関スル禁止ハ各其主管大臣ノ所  
定ニ任スルコト、シ以テ集會及政社法ヲ廢止シ其必要  
ナル條項即チ

- 一 結社集會及多衆ノ運動ヲ制限禁止スルノ權能
- 二 講談論議ヲ禁止スルヲ得ルノ權能
- 三 結社集會及多衆ノ運動ニ於ケル組織内情ヲ知ルノ

方法並ニ講談論議ニ臨監スルヲ得ヘキ權能  
四 集會及運動ニ於ケル保護ノ方法

ノミハ之ヲ留保シ加フルニ徘徊浮浪懶惰ニシテ生業ヲ勉  
メス或ハ乞丐ト為リ或ハ罪囚ト為ルノ徒ヲ取締リ一ニ本  
人ヲ誘掖シテ良民ニ化セシメ一ニ社會公衆ノ煩累ヲ除  
カントシ地方長官ヲシテ戒告ヲ為サシムルノ方法ヲ設ケ  
又外来人中安寧秩序風俗ヲ壞乱スル者及重罪輕罪  
ヲ犯シ監視ニ付シタル者並ニ生計ヲ営ム能ハサルコト確實  
ナル者ハ帝國ヨリ退去ヲ命ジ國民ノ煩累ヲ除去セントス  
尤モ清韓並ニ無條約國人民ニ對シテハ仮令帝國內一部  
區域内ヨリ放逐スルモ敢テ條約上ノ關係ヲ來サスト雖  
其他ノ條約國民ニハ一部區域ヨリノ放逐ハ勿論國境外  
放逐モ條約上實行シ難キ處アルヲ以テ此等ハ固ヨリ條



約上出来得ルモノニ限ルノ精神ナリ  
故ニ治安警察法ハ結社、集會、内國浮浪、外來浮浪ノ  
四綱目ニ社會下層ノ安寧ヲ維持スル一方法並ニ附隨  
ノ條項一二ヲ加ハタルモノナリ  
又本法施行ニ関シテハ結社即チ政治上ノ結合ハ現行法  
ト異リ主トシテ内偵ヲ以テ探知スルノ方法ヲ執リ又結  
社ノ制限禁止ハ内務大臣ノ職權トシ集會ノ制限禁  
止ハ地方警察官ノ職權ニ屬セシムルカ如キ又浮浪取  
締並ニ外國人追放ニ関スル詳細ノ規程ノ如キハ別ニ命  
令ヲ以テ之ヲ定ムル考ナリ